

令和元年度委員会での主な意見と対応

資料 1

番号	主な意見	発言委員	対応内容	県土整備プランにおける 関連政策・施策 (掲載ページ)	担当課
議事(2) 「はばたけ群馬・県土整備プラン2018-2027」における指標の進捗状況					
1	中高生の自転車の事故率が高い状況であることから、県立高校の生徒をはじめとして、ヘルメット着用の義務づけに向けた取組を進めてほしい。	湯沢委員長	県民全体のヘルメット着用の意識向上を目的として、群馬県交通安全条例にヘルメット着用の努力義務を新たに規定したところである。 今後、教育委員会による「中高生ヘルメット着用モデル事業」と連携し、高校生のヘルメット着用を促進して参りたい。	【安全】 政策4-施策1 交通事故防止対策 (P57~P58)	道路管理課
2	道路の段差や陥没等の情報を地域の方々から収集したり、県や市町村がその情報を発信できるようなルールづくりをしてほしい。	湯沢委員長	県管理道路を安全な状態に維持するため、日々、道路パトロールを行い、通行に支障がある箇所の早期発見に努めており、異常が発見された場合は、速やかな安全確保と補修を行う体制を構築している。 地域の方々からの情報提供は、道路の異常のより早い発見と安全の確保につながると考えており、道路の異常を見つけたときの連絡先を県ホームページに掲載している。 全市町村に「通学路安全推進連絡会議」を設置し、毎年、学校関係者、県警、教育委員会、道路管理者などにより通学路の合同点検を実施し、危険箇所の補修を行っている。	【安全】 政策5-施策2 効率的な社会資本の維持 管理 (P62~P63)	道路管理課
3	指標の遅れが目立つ長寿命化関係の事業については、遅れを取り戻すよう対応してほしい。	湯沢委員長	必要な予算確保に努め、計画的な執行により各長寿命化計画の遅延回復を図っていききたい 【舗装補修】 これまでの点検結果に基づく劣化予測を踏まえ、令和元年度に長寿命化計画の見直しを実施。令和2年度以降は、見直した長寿命化計画に基づき、必要予算を確保することで遅延回復を図っていく。 【河川構造物】 これまでの点検結果や整備・補修履歴を踏まえた健全度評価から、令和元年度は優先して対策を行う必要性の高い箇所について対策を実施し遅延回復を図った。令和2年度以降は、計画通りに対策を実施できるよう必要予算の確保及び平準化に努めていきたい。 【砂防関係施設】 早期に工事着手出来るよう設計業務を前倒しで実施するなど遅延回復に向け対応した。 【県営住宅】 住戸改善や外壁防水改修の工事を早期の着手に努め令和元年度内に完成させることで遅延回復を図った。	【安全】 政策5-施策1 社会資本の長寿命化対策 (P61~P62)	道路管理課 河川課 砂防課 住宅政策課
議事(3) 「はばたけ群馬・県土整備プラン2018-2027」に掲載されている主要事業の進捗状況					
4	河川・砂防・地すべりなどの災害に直結するような事業に関しては、可能な範囲で前倒しで進めてほしい。	湯沢委員長	令和元年東日本台風など、気候変動の影響等により頻発化・激甚化する気象災害の新たな脅威にしっかりと対応するため、県土整備プランを見直し、防災・減災対策事業をこれまで以上に一層加速していききたい。	【安全】 政策3-施策2 災害防止対策 (P52)	河川課 砂防課
議事(4) 特定テーマに関する討議					
5	異常気象時も避難に関する情報が住民に伝わったとしても、それを受け取った住民が具体的に行動に移せる仕組みを構築してほしい。	藤井委員	自然災害から命を守るためには、「自ら逃げる」ことが重要であることから、「①自分が生活する地域のリスクを認識すること」、「②そのリスクにしっかりと備えること」、「③避難判断に必要な情報が住民に伝わる取組」を推進しているところである。 水害リスクにしっかりと備えていただくために、水害対策として、住民一人ひとりのオーダーメイド型の避難行動計画となる「マイ・タイムライン」の作成支援を行って参りたい。 土砂災害対策としては、避難に関する情報を住民が受け取った際に行動に移すきっかけとなるよう、地域の自主避難計画作成を引き続き支援するとともに、土砂災害警戒情報の精度の検証を行い、信頼度向上に取り組んで参りたい。	【安全】 政策3-施策1 災害時の避難のサポート (P48~P51)	河川課 砂防課
6	避難行動を促すために、避難所に集まる付加価値的な取組や、いろいろなコミュニティを巻き込んで防災を考える仕組みをつくってほしい。	永村委員	水害対策としては、住民一人ひとりの避難行動計画である「マイ・タイムライン」の作成講習会をモデル地区を設けて実施することで地域コミュニティの交流も図って参りたい。 土砂災害対策としては、地域住民が参加して、地域の防災マップや自主避難計画を策定する住民懇談会を支援することで、引き続き住民の避難行動を促して参りたい。 また既存の「出前なんでも講座」を利用し、防災を考える機会に活用してもらいたい。	【安全】 政策3-施策1 災害時の避難のサポート (P48~P51)	河川課 砂防課